

国立音楽大学
2027 年度ディプロマ・コース

A日程・B日程
募集要項

目 次

ディプロマ・コースについて	1
出願について	2
審査方法について	4
合格発表について	4
各コースについて	
声楽コース	5
ピアノ・ソロ／アンサンブル・コース	6
弦楽器コース	7
a) ソリスト・コース	
b) オーケストラプレイヤー・コース	
c) コンサートマスター プリンシパル・コース	
管打楽器コース	9
ジャズ インストゥルメンタル・コース	10
別記「試験課題曲一覧」	
弦楽器コース	11
管打楽器コース	13
ジャズ インストゥルメンタル・コース	15

ディプロマ・コースについて

国立音楽大学では、音楽大学卒業程度のレベルの方で、さらに専攻実技の研鑽を積みたい人のために、「ディプロマ・コース」を設置しています。このコースには以下のコースがあり、本学に設置されているほぼ全専攻楽器が募集対象となります。

【コース名】

- ・ 声楽コース
- ・ ピアノ・ソロ／アンサンブル・コース
- ・ 弦楽器コース
 - a) ソリスト・コース
 - b) オーケストラプレイヤー・コース
 - c) コンサートマスター プリンシパル・コース

※弦楽器コースは、上記3つのコースから志望できます。(併願可能)

- ・ 管打楽器コース
- ・ ジャズ インストウルメンタル・コース

【コースの特色】

ディプロマ・コースは、本学の教員による実技レッスンを中心とし、高度な専門性を追求することを目的としています。更なる進学・進路先を目指すための準備や、ダブルスクールの場として受講するなど、音楽の学修意欲が強い人たちの志望に応えたコースです。

【コースの定義について】

ディプロマ・コースの実技レッスンは、本学の履修科目とは異なりますので、単位認定されるものではありません。大学での位置づけは「非正規生」となり、学割証、在学証明書等も交付されません。

【コースの受講にあたって】

- ・ 本コースを修了するためには、通算2年以上在籍の上、担当教員が認めた場合にのみ修了試験を受験し、合格する必要があります。なお、コースの在籍期間は通算5年までとし、在籍登録は1年ごとに所定の手続きが必要となります。担当講師は原則として本学教員です。大学構内での対面レッスンを基本とします。
- ・ 本学学部へ入学、編入した場合、ディプロマ・コースのレッスンを受講することはできません。

【受講料等（年額）】

1) 受講料 ※受講料には在籍費も含まれています。

(ア) 声楽コース	: 375,000 円
(イ) ピアノ・ソロ／アンサンブル・コース	: 375,000 円
(ウ) 弦楽器ソリスト・コース	: 375,000 円
(エ) 弦楽器オーケストラプレイヤー・コース	: 225,000 円
(オ) 弦楽器コンサートマスター プリンシパル・コース	: 225,000 円
(カ) 管打楽器コース	: 375,000 円
(キ) ジャズ インストゥルメンタル・コース	: 375,000 円

2) 施設使用料年額 初年度 100,000 円（本学学部卒業生の場合は 50,000 円）
次年度以降 20,000 円（本学学部卒業生も同額）

受講料と施設使用料は、入学手続きとあわせて所定の期限（A 日程：2026 年 12 月中旬予定/B 日程 2027 年 3 月中旬予定）までに全額を納入してください。次年度の方は、2028 年 1 月下旬に納入していただく予定です。一旦納入された納付金は返還いたしません。

出願について

◎各コースの募集内容・試験日・試験内容等は、P. 5 以降をご確認ください。

1) 出願期間

A 日程：2026 年 10 月 1 日（木）9:00 ～ 10 月 8 日（木）16:00（期間厳守）

B 日程：2027 年 1 月 8 日（金）9:00 ～ 1 月 15 日（金）16:00（期間厳守）

期間内に、下記フォームアドレスより出願登録を行ってください。

出願登録に際しては、事前に顔写真データ及び出願料の振込をした証明書のデータ添付（各データ 1.5MB まで）が必要です。パソコンやスマートフォンからの登録が可能です。

【ディプロマ・コース出願フォームアドレス】※

<https://business.form-mailer.jp/fms/e907fd72208798>



※指定期間以外の登録はできません。なお、出願フォームは登録が完了すると再アクセスすることができません。出願後に住所等内容に変更が生じた場合は、必ず国立音楽大学 KCMC 事務局までご連絡ください。（出願後の曲目変更はできませんので、ご注意ください。無断で変更した場合は失格となります。）

※顔写真は、正面上半身・脱帽・背景なし・出願登録の時点から 3 か月以内に撮影した受験用にふさわしいものとします。（白黒不可・カラーに限ります。）提出された写真は、受験票にも使用させていただきます。

2) 受験方式

出願登録に際し、出願フォーム内の「出願の諸注意について」及び「ディプロマ・コース受験にあたっての同意書」を必ず確認の上、登録を行ってください。

3) 提出書類

各コースの受験資格①による出願者は、下記の書類を郵送または演奏芸術センター窓口へ提出してください。

(1) 成績証明書（在学生の場合は、2026年度前期の成績まで記載されているもの。）

(2) レッスン担当教員の推薦書（別紙様式1）

※在学時とは別の教員の指導を希望する場合は、両方の教員の推薦が必要です。

※この要項の最終ページをA4用紙に印刷して、作成してください。

書類提出期間

A日程：2026年10月1日（木）～10月8日（木）（期間厳守）

B日程：2027年1月8日（金）～1月15日（金）（期間厳守）

演奏芸術センター窓口受付時間 8:50～16:50（土曜・日曜・祝日を除く）

4) 出願料 A日程・B日程 各10,000円

※振込受付期間内に出願料をお振込ください。出願フォームの入力に際しては、振込証明書・ATM利用証明書・振込受付完了画面（インターネットバンキング）のいずれかの画像が必要となりますので、事前にご対応の上、出願手続きを行ってください。

※コース併願の場合は、各コース分の出願料をそれぞれお支払いください。

（弦楽器コースa～cの併願は出願料10,000円のみお支払いください。）

[振込受付期間]

A日程：2026年9月30日（水）～10月8日（木）※期間以外振込は無効です。

B日程：2027年1月7日（木）～1月15日（金）※期間以外振込は無効です。

[振込指定口座] ※振込人名は、必ず受験者本人名で手続きください。

銀行名：三井住友銀行

支店名：国立支店

口座番号：普通 7944869

口座名：ガク）クニタチオンガクダイガク

5) 受験票（各コースの受験資格②による出願者のみ）

出願登録内容、出願料の入金等を確認後に大学から受験票をお送りいたします。

試験日の1週間前までにお手元に届かない場合は、至急KCMC事務局までご連絡ください。

6) 出願に関する問い合わせ先

国立音楽大学 KCMC 事務局（演奏芸術センター内）

〒190-8520 東京都立川市柏町 5-5-1

TEL 042-535-9514 メールアドレス kcmc@kunitachi.ac.jp

審査方法について

各コースの受験資格①による出願者は、これまでの専攻実技の成績により判定します。

受験資格②による出願者は、実技試験により判定します。

なお、弦楽器コースのうち、a) ソリスト・コースと c) コンサートマスター プリンシパル・コースは実技試験による審査のみとし、受験資格①による出願は受け付けません。

合格発表について

◎A日程 2026年12月2日（水）10:00

◎B日程 2027年3月6日（土）10:00

各コース一律で発表を行います。KCMC 事務局（演奏芸術センター）前の掲示板に合格者の受験番号を掲示します。また、「結果通知書」を郵送いたします。合否についての問い合わせにはお応えできません。合格者は、合格通知書に同封されている書面に従い、指定期間内に手続きをしてください。

各コースについて

【声楽コース】

教育目標 高度な歌唱技術の習得はもちろんのこと、詩の解釈、言葉への豊かな感性を磨き、舞台表現者としての能力や技術を養う。

受験資格 ①本学の音楽学部または大学院修士課程を 2024 年 3 月以降に卒業・修了（2027 年 3 月見込みを含む。）し、下記のいずれかに該当し、ディプロマ・コース受講にあたり声楽のレッスン担当教員の推薦がある者。

- ・音楽学部の声楽専修を卒業（見込みを含む。）した者
- ・大学院修士課程声楽専攻を修了（見込みを含む。）した者
- ・音楽学部で声楽コース、オペラ・ソリスト・コース、歌曲ソリスト・コースのいずれかを修了（見込みを含む。）した者

②上記①以外で、音楽大学卒業あるいは同等の実力を有している者

履修内容 専門実技レッスン 1 回 45 分、年間 20 回

募集人数 若干名

実技試験日（受験資格②による出願者のみ）

A 日程：2026 年 11 月 7 日（土） ※開始時間未定

B 日程：2027 年 1 月下旬の予定 ※開始時間未定

※出願期間・手続等は、募集要項 P. 2～4 を参照すること。

試験科目及び課題曲（受験資格②による出願者のみ）

●声楽演奏試験

〈課題〉

- ・歌曲 1 曲と自由曲 1 曲を原語で歌う。暗譜で演奏する。
- ・オペラ、オラトリオ、カンタータ等のアリアを自由曲に選んだ場合は、原語、原調を原則とする。
- ・曲間を含めて 8 分以内。
- ・伴奏はピアノ伴奏のみとし、受験者自身が手配する。無伴奏曲以外は、必ず伴奏者を伴うこと。また試験当日は受験者と同伴すること。試験日時について、伴奏者の都合は考慮できない。

〈試験当日〉

- ・事前に試験会場等詳細を郵送または Web 上でお知らせする。
- ・演奏は途中でカットする場合がある。

【ピアノ・ソロ／アンサンブル・コース】

教育目標 専門的に学び、深く音楽を追求してレパートリーの拡大を目指す。また、アンサンブル奏者を目指す者は、奏者としての経験と知識を増やし、豊かな表現力を身に付ける。

受験資格 ①本学の音楽学部または大学院修士課程を 2024 年 3 月以降に卒業・修了（2027 年 3 月見込みを含む。）し、下記のいずれかに該当し、ディプロマ・コース受講にあたりピアノのレッスン担当教員の推薦がある者。

- ・音楽学部の鍵盤楽器専修（ピアノ）を卒業（見込みを含む。）した者
- ・大学院修士課程器楽専攻（ピアノ、伴奏）を修了（見込みを含む。）した者
- ・音楽学部でピアノ・コース、ピアノ指導コース、鍵盤楽器ソリスト・コース、アンサンブル・ピアノ・コースのいずれかを修了（見込みを含む。）した者

②上記①以外で、音楽大学卒業あるいは同等の実力を有している者

履修内容 専門実技レッスン 1 回 45 分、年間 20 回

募集人数 若干名

実技試験日（受験資格②による出願者のみ）

A 日程：2026 年 11 月 12 日（木） ※開始時間未定

B 日程：2027 年 1 月下旬の予定 ※開始時間未定

※出願期間・手続等は、募集要項 P. 2～4 を参照すること。

試験科目及び課題曲（受験資格②による出願者のみ）

●ピアノ演奏試験

〈課題〉

- ・自由に選択した独奏曲（複数曲も可）で 15 分以上のプログラムを構成し、暗譜で演奏する。繰り返しは自由とする。

〈試験当日〉

- ・事前に試験会場等詳細を郵送または Web 上でお知らせする。
- ・演奏は途中でカットする場合がある。

【弦楽器コース】

- a) ソリスト・コース（実技試験のみ）
 - b) オーケストラプレイヤー・コース
 - c) コンサートマスター プリンシパル・コース（実技試験のみ）
- ※a)、b)についてはヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハーブ
c)についてはヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

教育目標

- a) ソリスト・コース：コンチェルトをはじめとするさまざまなレパートリーの演奏技術、解釈を学び、コンクールに入賞する演奏能力を身に付ける。
- b) オーケストラプレイヤー・コース：個人レッスンによりオーケストラ・スタディを学び、オーケストラのオーディションに合格する演奏能力を身に付ける。
- c) コンサートマスター プリンシパル・コース：オーケストラにおいて指揮者と他奏者の間に立ち、演奏をリードするために必要とされる専門的技術や音楽解釈を習得する。オーケストラの首席奏者としての力を養う。

受験資格 ① (b)のみ)

本学の音楽学部または大学院修士課程を2024年3月以降に卒業・修了（2027年3月見込みを含む。）し、下記のいずれかに該当し、ディプロマ・コース受講にあたり弦楽器のレッスン担当教員の推薦がある者（専攻した楽器と異なる楽器で受験する場合は、これに該当しない。）

- ・音楽学部の弦管打楽器専修（弦楽器）を卒業（見込みを含む。）した者
- ・大学院修士課程器楽専攻（弦楽器）を修了（見込みを含む。）した者
- ・音楽学部で弦楽器オーケストラプレイヤー・コース、弦管打楽器ソリスト・コースのいずれかを修了（見込みを含む。）した者

② (a)b)c)共通)

上記①以外で、音楽大学卒業あるいは同等の実力を有している者

- 履修内容 a) 専門実技レッスン1回45分、年間20回
b)c) オーケストラ・スタディの個人レッスン1回45分、年間10回／合奏の実習
※b)、c)については、レッスン指導教員2名まで希望可

募集人数 若干名

実技試験日（受験資格②による出願者のみ）

A日程：2026年11月10日(火) ※開始時間未定

B日程：2027年2月8日(月) ※開始時間未定

※出願期間・手続等は、募集要項P. 2～4を参照すること。

試験科目及び課題曲（受験資格②による出願者のみ）

●演奏試験

〈課題〉

- ・別記「試験課題曲一覧」参照。
- ・伴奏はピアノ伴奏のみとし、受験者自身が手配する。無伴奏曲以外は、必ず伴奏者を伴うこと。また、試験当日は受験者と同伴すること。試験日時について、伴奏者の都合は考慮できない。
- ・楽章の指定のないものは、その曲の全楽章を演奏すること。

〈試験当日〉

- ・事前に試験会場等詳細を郵送またはWeb上でお知らせする。
- ・試験当日に演奏楽章を指定することがある。また、演奏を途中でカットする場合がある。

【管打楽器コース】

教育目標 コンチェルトをはじめとするさまざまなジャンルの演奏技術、解釈を学び、それぞれの楽器に必要なレパートリーを身につけ、オーケストラをはじめとする各種オーディションの合格、国内外のコンクールに入賞するための演奏能力を身に付ける。

受験資格 ①本学の音楽学部または大学院修士課程を 2024 年 3 月以降に卒業・修了（2027 年 3 月見込みを含む。）し、下記のいずれかに該当し、ディプロマ・コース受講にあたり管打楽器のレッスン担当教員の推薦がある者（専攻した楽器と異なる楽器で受験する場合は、これに該当しない。）

- ・音楽学部の弦管打楽器専修（管打楽器）を卒業（見込みを含む。）した者
- ・大学院修士課程器楽専攻（管打楽器）を修了（見込みを含む。）した者
- ・音楽学部で弦管打楽器ソリスト・コースを修了（見込みを含む。）した者

②上記①以外で、音楽大学卒業あるいは同等の実力を有している者

履修内容 専門実技レッスン 1 回 45 分、年間 20 回

募集人数 若干名

実技試験日（受験資格②による出願者のみ）

A 日程：2026 年 11 月 14 日（土）※開始時間未定

B 日程：2027 年 2 月 5 日（金）※開始時間未定

※出願期間・手続等は、募集要項 P. 2～4 を参照すること。

試験科目及び課題曲（受験資格②による出願者のみ）

●演奏試験

〈課題〉

- ・別記「試験課題曲一覧」参照。
- ・伴奏はピアノ伴奏のみとし、受験者自身が手配する。無伴奏曲以外は、必ず伴奏者を伴うこと。また、試験当日は受験者と同伴すること。試験日時について、伴奏者の都合は考慮できない。
- ・楽章の指定のないものは、その曲の全楽章を演奏すること。

〈試験当日〉

- ・事前に試験会場等詳細を郵送または Web 上でお知らせする。
- ・演奏は途中でカットする可能性がある。

【ジャズ インストゥルメンタル・コース】

教育目標 高度な演奏技術の習得と共に様々な楽曲や歴史的な演奏を通してより深くジャズを探求する。そして様々な演奏の現場で対応できる実践的なソロやアンサンプルの能力を身に付ける。

受験資格 ①本学の音楽学部を2024年3月以降に卒業（2027年3月見込みを含む。）し、下記のいずれかに該当し、ディプロマ・コース受講にあたりジャズのレッスン担当教員の推薦がある者（専攻した楽器と異なる楽器で受験する場合は、これに該当しない。）

- ・音楽学部のジャズ専修を卒業（見込みを含む。）した者
- ・音楽学部でジャズ・コースを修了（見込みを含む。）した者

②上記①以外で、音楽大学卒業あるいは同等の実力を有している者

履修内容 専門実技レッスン1回45分、年間20回

募集人数 各楽器若干名

募集楽器 ジャズピアノ、ジャズギター、ジャズベース、ジャズサクソフォン、ジャズトランペット、ジャズトロンボーン、ジャズドラムス

実技試験日（受験資格②による出願者のみ）

A日程：2026年11月19日(木) ※開始時間未定

B日程：2027年2月10日(水) ※開始時間未定

※出願期間・手続等は、募集要項P. 2～4を参照すること。

試験科目及び課題曲（受験資格②による出願者のみ）

●演奏試験

〈課題〉

- ・別記「試験課題曲一覧」参照

〈試験当日〉

- ・事前に試験会場等詳細を郵送またはWeb上でお知らせする。
- ・演奏は途中でカットする場合がある。

別記「試験課題曲一覧」

【弦楽器コース】

a) ソリスト・コース

■ ヴァイオリン

A、B群からそれぞれ任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

[A群]

J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリンソナタ第1番 ト短調 BWV1001 より フーガ

J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリンソナタ第3番 ハ長調 BWV1005 より フーガ

J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリンパルティータ第2番 ニ短調 BWV1004 より シャコンヌ

[B群]

ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 61 より 第1楽章

(ヨアヒム又はクライスラーのカデンツァ)

ブラームス:ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 77 より 第1楽章(ヨアヒムのカデンツァ)

チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 35 より 第1楽章

シベリウス:ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品 47 より 第1楽章

バルトーク:ヴァイオリン協奏曲第2番より 第1楽章

■ ヴィオラ

下記の3曲から任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

(1) ブラームス:ヴィオラ・ソナタ ヘ短調 作品 120-1

(2) ブラームス:ヴィオラ・ソナタ 変ホ長調 作品 120-2

(3) ヒンデミット:ヴィオラ・ソナタ ヘ調 作品 11-4

■ チェロ

A、B群からそれぞれ任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

[A群]

J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第2番(ニ短調 BWV1008)～第6番(ニ長調 BWV1012)より任意のプレリュード

[B群]

ハイドン:チェロ協奏曲第1番 ハ長調 Hob.VIIb-1 より 第1楽章

ハイドン:チェロ協奏曲第2番 ニ長調 Hob.VIIb-2 作品 101 より 第1楽章

ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 ロ短調 作品 104 より 第1楽章

シューマン:チェロ協奏曲 イ短調 作品 129 より 第1楽章

エルガー:チェロ協奏曲 ホ短調 作品 85 より 第1・2楽章

■ コントラバス

下記の3曲から任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

(1) クーセヴィツキー:コントラバス協奏曲 嬰ヘ短調

(2) ヴァンハル:コントラバス協奏曲 ニ長調

(3) ディッターズドルフ:コントラバス協奏曲 ホ長調

■ ハープ

(1)を1曲及び(2)より1曲の計2曲を暗譜で演奏する。

(1) 5分程度の古典曲(C.P.E.バッハ作曲『ソナタ』の第1楽章、ヘンデル作曲『協奏曲』の第1楽章、J.S.バッハ作品のルニエ編あるいはグランジャーニー編等)

(2)

- ① フォーレ:アンプロンプチュ 変ニ長調 作品 86
- ② サルツェード:古代様式の主題による変奏曲
- ③ ルニエ:レジェンド
- ④ ダマーズ:シチリア風変奏曲
- ⑤ ヒンデミット:ソナタ
- ⑥ グランジャーニー:ラプソディー
- ⑦ タイユフェール:ソナタ

b) オーケストラプレイヤー・コース

専攻する楽器の以下の課題曲および、試験2週間前に通知される指定のオーケストラ・スタディを演奏すること。

暗譜は任意とする。

■ ヴァイオリン

モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第3番 K.216、第4番 K.218、第5番 K.219 のいずれか任意の第1楽章(カデンツァ無し)

■ ヴィオラ

F.A. ホフマイスター:ヴィオラ協奏曲 二長調

C. シュターミッツ:ヴィオラ協奏曲 二長調 作品1

上記のいずれか任意の第1楽章(カデンツァ無し)

■ チェロ

ハイドン:チェロ協奏曲第1番 ハ長調 Hob.VIIb-1 より 第1楽章(カデンツァ無し)

■ コントラバス

任意の自由曲

■ ハープ

任意の自由曲

c) コンサートマスター プリンシパル・コース

(1)から(3)までを演奏する。

(1)ソリスト・コースの課題曲から自分の演奏する楽器の課題曲を選択し、暗譜で演奏する。

(2)オーケストラプレイヤー・コースの課題曲から自分の演奏する楽器の課題曲を選択し、演奏する。暗譜は任意とする。

(3)試験2週間前に通知される指定のオーケストラスタディを演奏する。暗譜は任意とする。

※(1)と(2)は、異なる曲を選ぶこと。

【管打楽器コース】 暗譜は、任意とする。

■ フルート

(A) (B)の2曲を演奏する(曲目の演奏順は自由)。

(A) 次の課題曲(1)～(7)から1曲を選択して演奏する。

(1) E. ボザ: Image

(2) J. イベール: Pièce

(3) P.O. フェルー: Trois Pieces-Ⅲ

(4) S. カルク-エラート: 30 Studies op.107, No.30 Chaconne

(5) S. カルク-エラート: Sonata (Appassionata) fis-moll op.140

(6) N. パガニーニ: 24 Caprices op.1より 24 番

(7) J. リヴィエ: Oiseaux Tendres

(B) 上記(A)以外の自由曲1曲(但し、ピアノ伴奏付きの曲)を演奏する。

■ オーボエ

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を演奏する。

モーツァルト: オーボエ協奏曲 ハ長調 K. 314

■ クラリネット

次の課題曲(1)、(2)のうち任意の1曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を演奏する。

(1) モーツァルト: クラリネット協奏曲 イ長調 K. 622

(2) ドビュッシー: クラリネットのための第1狂詩曲

■ サクソフォーン

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を演奏する。

グラズノフ: サクソフォーン協奏曲

■ ファゴット

次の課題曲(1)、(2)のうち任意の1曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を演奏する。

(1) モーツァルト: ファゴット協奏曲 変ロ長調 K. 191

(2) ウェーバー: ファゴット協奏曲 ヘ長調 作品 75

■ ホルン

次の課題曲(1)、(2)、(3)のうち任意の1曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を演奏する。

(1) モーツァルト: ホルン協奏曲第2番 変ホ長調 K. 417 第1楽章

(2) R. シュトラウス: ホルン協奏曲第1番 変ホ長調 第1楽章

(3) ノイリンク: バガテル

■ トランペット

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を演奏する。

フンメル:トランペット協奏曲 変ホ長調 第1楽章

■ トロンボーン

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を演奏する。

テナートロンボーンの場合

トマジ:協奏曲 第1楽章

バストロンボーンの場合

ギリンガム:ソナタ 第1楽章

■ ユーフォニアム

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を演奏する。

J. ホロヴィッツ:協奏曲(Novello 版)

■ チューバ

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を演奏する。

R. ヴォーン・ウィリアムズ:チューバ協奏曲(Oxford University Press 版)

■ 打楽器

次の課題曲(1)、(2)のいずれかと自由曲(無伴奏曲も可)を演奏する。

(1) ジョリヴェ:打楽器とオーケストラのための協奏曲 第4楽章

(2) クレストン:マリンバとオーケストラのための協奏曲 第3楽章

【ジャズ インストゥルメンタル・コース】

※課題曲において指示されている譜例 14～18 を必ず使用していただくため、受験希望者は
入試センター(042-535-9536 直通)までご連絡ください。

1. 課題曲(全楽器共通)

“Satin Doll” by Duke Ellington 編曲:小曾根真

テーマ(32小節)を演奏後、そのコード進行に従い、即興演奏を2コーラス行う。

* 別冊「ジャズ専修 入学試験課題曲集」譜例 14～18 を必ず使用すること。

(オーディオセットによる伴奏が付く。イントロなし。楽譜を見てもよい。)

2. 自由曲

① ドラムス以外

無伴奏による2～3分程度の演奏を行う(暗譜)。

② ドラムス

即興演奏 J=120 8小節+8小節の16小節を仮定したドラムソロを2コーラス(32小節)行う。

自らカウントを出し開始。リズムの種類は自由。演奏中にメトロノームは鳴らさない。

(様式 1)

推 薦 書

年 月 日

1.本学在学中のレッスン担当教員氏名 _____ 印

2.ディプロマ・コースでのレッスン希望教員氏名 _____ 印

ディプロマ・コースを受講するにふさわしいと認め、下記の者を推薦します。

学科 _____ 専攻 _____

在学中のコース _____

氏名 _____

出願コース _____

※教員の署名は、自筆とする。

※教員が同じ場合は、1.のみに署名でよい。

※教員の退職等をやむを得ず 1.の署名が得られない場合は、下記に理由を記入すること。

理由 _____
